

9月1日は防災の日

関東大震災が発生した9月1日は「防災の日」です。地震などの災害から身を守るためには、日ごろからの備えが大切です。この機会に、身の回りの備えを見直してみましょう。

災害に備えるチェックポイント

- ✓災害時の連絡方法や避難場所などについて、家族で確認しておきましょう。
「知っておきたい OITA防災」特設ページ▶ 
- ✓家具の安全な配置を考え、転倒防止策をとりましょう。
- ✓食料品や飲料水は3日分(可能であれば1週間分)を目安に備蓄し、避難する際に持ち出すものはリュックなどにまとめておきましょう。
- ✓トイレが使えない場合に備え、携帯トイレ(1人1日5回分)も備蓄しておきましょう。

災害時要配慮者への支援を

地域には、高齢者や障がいのある人など、何らかの配慮が必要な人がいます。避難の際は、自分や家族の安全を確保した上で、可能な範囲での支援にご協力をお願いします。

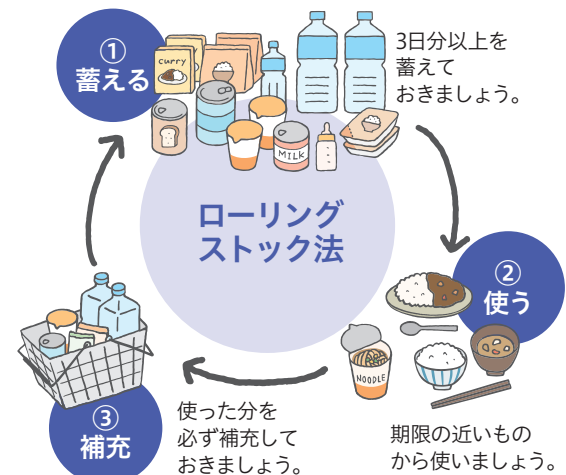
～土砂災害から命を守るために～

お住まいの場所が**土砂災害警戒区域**をご確認ください。
「日頃の備え」と「早めの避難」があなたの命を守ります。

大分県 土砂災害警戒区域等情報インターネット提供システム▶ 

ローリングストック法で常時保存！

普段から缶詰などの日持ちする食料や日用品を少し多めに買い置きしておき、消費した分は買い足して、常に一定量を保つことで、いざというときにも日常に近い生活を送ることができます。



☎ 防災危機管理課 ☎537-5664

9月9日は救急の日

救急の日とは、救急医療および救急業務に対する理解と認識を深めるために制定された日です。大切な人の命を救うために、救急活動について知識を深めましょう。

救急車の適正な利用をお願いします

救急車は地域の限られた救急資源です。市民約47万人の命を14台で守っています。

7年の救急件数は**25,782件**と過去最多です。救急車の利用が増えると、到着時間や搬送先が決まるまでの時間が遅れ、救えるはずの命が救えなくなる可能性があります。

それ、誤った利用です！

- ✗ 歩けるが救急車でいきたい
- ✗ タクシーだとお金がかかる
- ✗ 救急車の方が早く診てもらえそう



知っていますか「マイナ救急」

マイナンバーカードを利用して、傷病者の医療情報を確認し、迅速かつ適切な救急活動を行うための取り組みです。搬送先の病院選定や応急処置に役立てますので「マイナンバーカード」の携行にご協力ください。



救命講習を開催しています

非常時などに対応できるように、心肺蘇生法やAEDの使用方法などの実技を学んでみませんか？

消防局救急救命課	☎ 532-4199
中央消防署	☎ 532-2108
東消防署	☎ 527-2721
南消防署	☎ 586-1230



▲詳しくは

こんなときには迷わず119番を

頭

- 突然の激しい頭痛・高熱
- 支えなしで立てない
- くらい急にふらつく

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ろれつが回りにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 顔色が明らかに悪い

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く
- 便に血が混ざる、または真っ黒い便が出る



こどもは自分の状態を伝えることが難しい場合があります。いつもと違う様子はないか、周りの人が注意してください。

判断に迷うときは 県救急安心センター☎7119へ！

急な体調不良やけがをしたときに、すぐに病院に行くべきか、どこの病院に行ったらよいかなどの相談に応じます(こどもの場合は 県こども救急電話相談☎8000)。

☎ 消防局救急救命課 ☎532-4199

行政改革の取り組みをお知らせします

市民サービスの向上を図るとともに、新たな時代にふさわしい行政運営を進めていくために、行政改革に取り組んでいます。

☎ 行政改革推進室 ☎537-5718



「大分市行政改革推進プラン(第6次)」の進捗状況

2025年度の実績

■改善効果額・・・約32億円(歳入:約11億円 歳出:約21億円)

■主な取り組み

- 「自分とまちを彩る若者会議」を創設し、若者の意見やアイデアをまちづくりに反映
- 「おおいたし電子図書館」を開館
- 市営住宅の集約化(数戸南住宅)
- 工事請負および建設コンサルタント等業務委託における電子契約の運用開始
- 「大分市公共施設使用料算定基準」に基づく使用料および減免基準の見直し

大分市にゆかりのある若者たちが自ら課題を見つけ、解決に向けて企画や提案を行いました。



自分とまちを彩る若者会議

2026年度の計画

■主な取り組み

- 水泳授業における民間活力活用の拡大(賀来小学校)
- 「書かないワンストップ窓口」の導入
- デジタル人材育成に向けた研修の実施
- 「コンプライアンス行動指針元年」と位置付け、公正で開かれた市政を推進
- 「企業版ふるさと納税マッチング支援事業」を継続して実施

9年2月の導入に向け、市職員が来庁者の立場で窓口利用体験調査を行い、改善点を検証しました。



書かないワンストップ窓口

大分城址公園

インクルーシブ遊具体験会を開催！

インクルーシブ遊具とは障がいの有無にかかわらず、みんなが楽しく一緒に遊べる遊具です。それぞれの遊び方で楽しめる工夫がいっぱい！見て、さわって、ぜひ体感してみてください。



回転遊具を楽しむことができます



3歳児未満用遊具エリアもあります



2人でブランコに乗ることができます

開催期間:10月4日(日)～11月3日(火)

開場時間:午前9時～午後5時

会場:大分城址公園 西側広場

設置施設:遊具14基程度

その他:10人以上の団体の利用する場合は、お問い合わせの上、ご予約ください。

職員が常駐しているため、安心してインクルーシブ遊具を体験できます。

遊具を体験した後は、どんな遊具があったらいいかなど、アンケートに答えて意見を聞かせてください！



10月10日(土)には「グリーンスローモビリティ」の乗車体験会も予定しています



☎ 公園緑地課 ☎578-7796

